

科目名 (英)	Webデザイン概論Ⅱ Introduction to Web Design II	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	塩谷 正樹
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 Webサイトの各種パーツ分析を通して、各種Webデザインの傾向について調査、研究する、ターゲット層から見るWebデザインについて考察していきます。デザインの関連する基礎知識を学び、コンセプトやキーワードから最適なフォント、配色、ビジュアルなどを選定出来るようにしていきます。教科書の事例を基に公開されているWebサイトの特徴を捉えられるようにデザインの引き出しを増やしていきます。							
【到達目標】 Webサイトパーツ分析で各種パーツの役割や目的とデザインを調査できるようになる。 各ジャンルごとのサイトデザインについてトレンドを把握できるようになる。 Webサイトからターゲットユーザーや作り手の意図を考えられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「スマートWEBデザイン 脱・自己流のデザイン&データ作成術」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 Webサイトを構成するパーツについて理解する。① 【授業内容】 各種パーツのデザイン要素を調査・研究 「デザインの可視化」のレポート作成①			9	【到達目標】 納品データについて理解する① 【授業内容】 基準サイズ、修正点の確認 「デザインの可視化」のレポート作成⑤		
2	【到達目標】 Webサイトを構成するパーツについて理解する。② 【授業内容】 ビジュアル要素のサイズや仕様とデザインの傾向			10	【到達目標】 納品データについて理解する② 【授業内容】 デザインのスタイルガイドを作る		
3	【到達目標】 Webサイトを構成するパーツについて理解する。③ 【授業内容】 タイトル、見出し、キャッチコピーなどジャンプ率とデザインの傾向 「デザインの可視化」のレポート作成②			11	【到達目標】 納品データについて理解する③ 【授業内容】 コーディング指示のポイントをおさえる		
4	【到達目標】 Webサイトを構成するパーツについて理解する。④ 【授業内容】 レイアウトのパターンや傾向 ホワイトスペースによる印象の違い			12	【到達目標】 レポート作成に必要な情報をまとめることができる 【授業内容】 定期試験対策：レポートの作成準備2		
5	【到達目標】 Webサイトを構成するパーツについて理解する。⑤ 【授業内容】 デザインの特徴と要素を調査・研究する 「デザインの可視化」のレポート作成③			13	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを調査・分析できるようになる。 【授業内容】 定期試験：Webサイト分析レポートの発表 作品に対するフィードバックなど		
6	【到達目標】 コーディングに困るデザインについて理解する① 【授業内容】 コーディングの知識を確認する 線のにじみや小数点について			14 (対面)	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを調査・分析できるようになる。 【授業内容】 定期試験：Webサイト分析レポートの発表 作品に対するフィードバックなど		
7	【到達目標】 コーディングに困るデザインについて理解する② 【授業内容】 背景画像の準備、グラデーション 「デザインの可視化」のレポート作成④			15	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを調査・分析できるようになる。 【授業内容】 定期試験：Webサイト分析レポートの発表 作品に対するフィードバックなど		
8 (対面)	【到達目標】 コーディングに困るデザインについて理解する③ 【授業内容】 中間テスト(内容は別途告知) CMSやノーコードサイトを想定したデザイン			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、課題のいずれか)により評価する。 ○成績評価(中間テスト20%+定期試験80%) 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。							

科目名 (英)	Web制作概論Ⅱ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	塩谷 正樹
	Introduction to Web Development II	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分	後期 月曜 2限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 Webディレクションを理解し、制作に関わる様々なポジションの役割について見ていきます。この授業では制作に必要な項目や知識についても学習し、講義形式ではありますが、ディスカッションの場を設けたりし、各々の考えを発表、他者の意見を聞くことで様々な捉え方があることを理解し視野を広げていきます。							
【到達目標】 Webディレクションを理解する。 Webサイト制作に必要な項目や知識について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 「Webディレクションの新・標準ルール」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 制作・進行管理について理解する① 【授業内容】 リモート環境におけるコミュニケーション マイルストーンの設定とスケジュール管理			9	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの企画が出来るようになる。① 【授業内容】 Webサイトのミッションとゴールの設定		
2	【到達目標】 制作・進行管理について理解する② 【授業内容】 制作マニュアル・ガイドライン			10	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの企画が出来るようになる。② 【授業内容】 ヒアリングシート、UX設計		
3	【到達目標】 制作・進行管理について理解する③ 【授業内容】 ワークスタイルの多様化 リモート環境でのデータ管理			11	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの設計が出来るようになる。① 【授業内容】 ワークフローの確認 フロー図の作成		
4	【到達目標】 制作・進行管理について理解する④ 【授業内容】 進捗管理、テストを効率化するツール Webサイトの公開			12	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの設計が出来るようになる。② 【授業内容】 提案書や各種資料のまとめ		
5	【到達目標】 運用・改善について理解する① 【授業内容】 運用ルールと更新のマネージメント ヒューマンエラーの回避方法			13	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの制作設計が出来るようになる。① 【授業内容】 定期試験：制作内容の発表、フィードバックなど		
6	【到達目標】 運用・改善について理解する② 【授業内容】 マニュアル作成 更新時のノーコードツール、SNSアカウントの運用			14 (対面)	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの制作設計が出来るようになる。② 【授業内容】 定期試験：制作内容の発表、フィードバックなど		
7	【到達目標】 運用・改善について理解する③ 【授業内容】 PDCAサイクル、サイト改善の解析ツール リニューアルのタイミングと制作会社の移管			15	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトの制作設計が出来るようになる。③ 【授業内容】 定期試験：制作内容の発表、フィードバックなど		
8 (対面)	【到達目標】 制作・進行管理、運用・改善について確認する。 【授業内容】 中間テスト(内容は別途告知)			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。							

科目名 (英)	Webコーディング基礎演習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	塩谷 正樹
	Web Coding Foundation PracticeⅡ						
学科・コース	情報技術科	授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 3・4限
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 Webサイトのコーディングについて学びます。レイアウトの違うWebサイトのコーディングを行うことで、様々なデザインに対応出来るようにしていきます。また、外部サービスの導入と表示方法なども行い、より実践に近いWebサイトコーディングができるようにしていきます。							
【到達目標】 レスポンスWebサイトのコーディングができるようになる。 運用を考えた管理しやすいコーディングができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「初心者からちゃんとしたプロになる HTML+CSS標準入門」「1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座」Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 シングルカラムレイアウトが制作できるようになる。 【授業内容】 前期内容の振り返り小テストと解説			9	【到達目標】 サイト制作ができるようになる① 【授業内容】 flexboxを使用したWebページの制作		
2	【到達目標】 2カラムレイアウトが制作できるようになる① 【授業内容】 2カラムレイアウトについて 2カラムレイアウト制作の流れ			10	【到達目標】 サイト制作ができるようになる② 【授業内容】 flexboxを使用したWebページの制作		
3	【到達目標】 2カラムレイアウトが制作できるようになる② 【授業内容】 メインエリアの制作 サイドバーの制作			11	【到達目標】 サイト制作ができるようになる③ 【授業内容】 flexboxを使用したWebページの制作		
4	【到達目標】 2カラムレイアウトが制作できるようになる③ 【授業内容】 レスポンスの対応 全体の調整と確認			12	【到達目標】 定期試験対策 【授業内容】 HTMLマークアップの練習 CSSスタイリングの練習		
5	【到達目標】 外部メディアを利用する① 【授業内容】 お問い合わせとMAPの表示			13	【到達目標】 Webサイトの構築が出来るようになる。 【授業内容】 定期試験:Webサイト構築①		
6	【到達目標】 外部メディアを利用する② 【授業内容】 SNS関連の表示			14 (対面)	【到達目標】 Webサイトの構築が出来るようになる。 【授業内容】 定期試験:Webサイト構築②		
7	【到達目標】 外部サービスを利用する 【授業内容】 Animate.cssの導入方法			15	【到達目標】 適切なマークアップとスタイリングを理解出来るようになる。 【授業内容】 定期試験の解説		
8 (対面)	【到達目標】 指示に沿ったページ制作ができるようになる 【授業内容】 中間テスト(内容は別途告知)			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、課題のいずれか)により評価する。 ○成績評価(中間テスト20%+定期試験80%) 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。							

科目名 (英)	ビジネスマナー Business Etiquette	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡千恵
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火 曜 1限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 経営コンサルタント・企業研修等							
【授業の学習内容】 経営コンサルティング業務の会社を設立し、長年専門学校にて社会学、サービス接遇、経営学等の教鞭をとっている教員が社会で求められる協働できる人材、コミュニケーションの取れる人材を育成すべく、そんな人材になるために必要なことは何かを考えながら受講してほしい。就職活動に向けて社会人基礎力をつけるとともにグループでの演習で卒業後の具体的なキャリアをともに考える仲間もあり、できるだけ登校が望ましい							
【到達目標】 社会人としてのビジネスマナーを学ぶ クライアントのニーズを理解する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 仲間を知って良いところを見つけよう 【授業内容】 自己紹介・他己紹介			9	【到達目標】 面接に行こう2 【授業内容】 控室までの行動をやってみよう(チーム対抗)		
2	【到達目標】 社会人としての心構えを知ろう 【授業内容】 挨拶の種類とコミュニケーション領域・顧客について			10	【到達目標】 面接時の注意点 【授業内容】 自己紹介と自己PRに違い。自己紹介ビラを作ろう		
3	【到達目標】 ビジネスマインドを磨こう1 【授業内容】 報・連・相と場面にあった挨拶			11	【到達目標】 自己紹介を可視化しよう 【授業内容】 仲間を評価しよう		
4	【到達目標】 敬語を使おう 【授業内容】 尊敬語・謙譲語・丁寧語について学ぶ。正しい言葉使いについて			12	【到達目標】 グループディスカッションを楽しもう1 【授業内容】 テーマに沿って行うグループワーク		
5	【到達目標】 メールの達人になろう 【授業内容】 業務文章・社内連絡・社内文書を書こう			13	【到達目標】 グループディスカッションを楽しもう2 【授業内容】 グループ別発表と質問点を挙げる		
6	【到達目標】 メールの達人になろう2(相手の立場を理解する冊子) 【授業内容】 就活生のための小冊子作成			14 対面	【到達目標】 【授業内容】 定期試験		
7 対面	【到達目標】 メールの達人になろう3(プレゼンテーション) 【授業内容】 中間試験 冊子の完成と発表			15	【到達目標】 振り返り 【授業内容】 定期試験解説		
8	【到達目標】 面接に行こう1 【授業内容】 控室までの道のりを完璧に！			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	Office 応用	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	飯島 由香利
	Applied Office Skills	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	後期
学科・コース	情報技術科					曜日・時間	火曜 2限
【実務経験】							
PCスクールにて20年以上講師として従事。パソコンの基本操作、Microsoft Office、MOS試験対策、ホームページ作成等の講習・実務経験を持つ。離職者職業訓練の講師・事務運営等幅広く業務に係わる。国家資格キャリアコンサルタントを所持。日々の授業やキャリア面談を通じ、受講生の再就職へのサポート経験を持つ。							
【授業の学習内容】							
公共職業訓練のOffice授業を長年担当してきた講師が、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。専門学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用して、Microsoftのコンピュータソフト(Word, Excel, PowerPoint)の応用的な操作を演習を通じて学ぶ。							
【到達目標】							
・Wordで差込印刷機能の活用や抄録を作成できる。 ・Excelでさまざまな関数を活用したり、シート間集計やデータベースを操作できる。 ・PowerPoint Excelで作成したグラフの貼り付けやスライドショーを効果的に活用できる。 ・マナーを守ったメールを作成できる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
オリジナルのe-learningテキスト				e-learning(インターネット上のテキスト)で次回講義までに不明な操作を確認しておく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 関数応用1「応用的な関数を活用できる1」 【授業内容】 Excel応用B			9	【到達目標】 長文作成「長文作成における必要な操作ができる」 【授業内容】 Word応用A ヘッダーとフッター、ページ番号、目次、セクション区切り、段組み		
2	【到達目標】 関数応用2「応用的な関数を活用できる2」 【授業内容】 Excel応用C			10	【到達目標】 振り返り(Word) 【授業内容】 Word問題集		
3	【到達目標】 データベース「データベース機能を理解し活用できる」 【授業内容】 Excel応用A			11	【到達目標】 ポスター作成ができる 【授業内容】 ポスター作成		
4	【到達目標】 グラフ応用「目的にあったグラフを選択し、作成することができる」 【授業内容】 Excel応用D			12	【到達目標】 Word試験対策 【授業内容】 Word試験対策(L)		
5	【到達目標】 ブックの活用「ブックを活用するさまざまな機能を理解し活用できる」 【授業内容】 Excel応用E			13	【到達目標】 Word・Excel応用試験対策 【授業内容】 Word・Excel応用試験対策		
6	【到達目標】 Excel試験対策 【授業内容】 Excel試験対策(O版)			14 対面	【到達目標】 設問指示に従った操作を実践して、資料を作成できる 【授業内容】 定期試験		
7	【到達目標】 Excel応用試験対策 【授業内容】 Excel応用試験対策(50分)			15	【到達目標】 試験結果を基に振り返りを行い復習する 【授業内容】 試験結果の配布と試験問題の解説		
8 対面	【到達目標】 設問指示に従った操作を実践して、Excelブックを作成できる 【授業内容】 中間試験			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 (中間試験40点、定期試験60点、合計100点) ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							
1回目の講義、8回目の中間試験・14回目の定期試験は全員登校してください。小テストはFormsではなく、講義で使用するe-learning上で実施します							

科目名 (英)	iOSプログラミング I・II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関川 友恵	
	iOS Programming I:II	授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後 期 火曜 3、4限	
学科・コース	情報技術科							
【実務経験】 iOSプログラミングはアジャイル開発を主に勤怠管理、学習管理作成を3年経験。								
【授業の学習内容】 現場経験で身につけた経験を生かした独自の事例や知識を生かして独自資料にまとめ使用すると共に、実務経験を生かした具体的でわかりやすい質疑を繰り返しiPhoneアプリを作成するアウトプットする機会をつくり記憶の定着を図る授業を行なう。本科目では、実際の現場開発で使用するデバッグ方法やバグ解決を行い、開発時につまずいた際の解決方法の理解を深めてほしい。								
【到達目標】 以下の技術を身につけることにより、iOSプログラミング基礎、スキル向上、問題解決能力、業界標準の理解を習得していく。 【 I 】Xcodeの使い方の理解。基本的なiOS アプリの制作過程の理解。Swift言語の特長を活かしたプログラミング 【 II 】Pythonを用いたiOSプログラミング								
【使用教科書・教材・参考書】 ・詳細!SwiftUI iPhoneアプリ開発入門ノート<2022> ・PythonではじめるiOSプログラミング					【授業外における学習】 ・専門用語が出てくるので事前学習をきちんとし、授業に備える。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要			
1 対面	【到達目標】 コースの目的と内容を理解し、Xcodeのインストールと設定ができる 【授業内容】 コース概要説明、Xcodeのインストール、初期設定、Swift Playgroundsの紹介。開発環境の使い方の基礎を学ぶ			9	【到達目標】 Pythonを用いたiOSアプリ開発のための基礎知識を理解する 【授業内容】 Pythonを使ったiOS開発フレームワーク(Kivyなど)の紹介、PythonコードをSwiftから呼び出す方法やAPIの活用について			
2	【到達目標】 Swiftの基本的な構文とデータ型を理解し、簡単なプログラムを書くことができる 【授業内容】 Swiftの基本構文、データ型(文字列、数値、配列、辞書など)、制御構文(if文、for文など)について学ぶ			10	【到達目標】 Swiftを用いて、外部APIとの通信ができる 【授業内容】 URLSessionを使ったHTTPリクエストの作成、JSONデータのパーズ技術を学び、実際にAPIを利用したアプリを作成			
3	【到達目標】 Swiftで関数とクラスの定義ができ、OOP(オブジェクト指向プログラミング)の基本を理解する 【授業内容】 関数の定義と呼び出し、クラスの作成、インスタンス化、プロパティやメソッドの使用方法			11	【到達目標】 アプリのUI/UXデザインの基本概念を理解し、アプリに適用できる 【授業内容】 ユーザーセンターデザイン、SwiftUIを用いたデザイン原則、インターフェイスの改善方法、ユーザーテストの重要性について			
4	【到達目標】 SwiftUIの基本概念を理解し、簡単なUIを作成できる 【授業内容】 SwiftUIの構造、ビュー、レイアウト、コンポーネントの作成を学び、シンプルなアプリのUIを構築			12	【到達目標】 自分のアイデアをもとに、アプリの設計書を作成する能力を身につける 【授業内容】 グループまたは個人でプロジェクトのアイデアを出し合い、機能仕様書、デザイン案、技術スタックをまとめた設計書を作成			
5	【到達目標】 SwiftUIにおける状態管理(@State、@Binding)を理解し、効果的に使用できるようになる 【授業内容】 SwiftUIの状態管理の概念、データバインディングの基本、状態の変化に応じたUIの更新方法を実践			13	【到達目標】 自分たちが設計・開発したアプリを発表し、フィードバックを受ける 【授業内容】 各グループまたは個人によるアプリのデモ発表。プレゼンテーションスキル、質疑応答、自 Bewertungen セッションを通じて学びを振り返る			
6	【到達目標】 Pythonの基本的な構文とデータ型を理解し、簡単なプログラムを書くことができる 【授業内容】 Pythonのインストール、基本構文、データ型、関数の定義と使用について学ぶ			14 対面	【到達目標】 Pythonを用いたiOSアプリ開発のための理解を深める 【授業内容】 定期試験・振り返り授業			
7	【到達目標】 Pythonでデータを扱う基本的な手法(リスト、辞書、ファイル入出力)を理解し、実践できる 【授業内容】 リストや辞書を用いたデータ処理、ファイルの読み書き、データの整形の方法を学ぶ			15	【到達目標】 これまでの振り返りを通して、iOSプログラミングについての理解を定着させる 【授業内容】 定期試験結果フィードバック・後期授業振り返り			
8 対面	【到達目標】 これまでのSwiftUIでのアプリ開発とPythonでのデータ扱いを理解する 【授業内容】 中間試験・振り返り授業			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価				
【特記事項】 macOS Monterey 12.4以降の環境が必要								

科目名 (英)	Webライティング Writing for the Web	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	原田義和
	学科・コース 情報技術科	授業 形態	実技	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後 期 水 曜 1 限
【実務経験】 国語の学習塾講師として20年以上勤務。Webライティング能力検定1級。							
【授業の学習内容】 前半は正しい日本語を活用することを目指して文章検定3級に向けた学習をする。 論理的に文章を読む、書く練習をする。 後半はWebライティングやSEOの知識を学んで実践的な経験を積む。 知識を問う小テストも行っていく。							
【到達目標】 社会人として通用するだけの読解、記述能力を身につける。 国語力を身に着けることで論理的思考能力の向上を目指す。 文章検定3級を取得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 文章検公式テキスト3級、文章検過去問題集3級 Vol.2				【授業外における学習】 どんどん書きましょう。持ってきてくれれば添削します。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 ●対面	【到達目標】 この授業を通じてどういった能力が身につくのかを理解する。 【授業内容】 この授業の意義 テキスト第1章			9	【到達目標】 文章構成を意識する。 【授業内容】 テキスト第5章①		
2	【到達目標】 接続語、助詞などに注目して文章のつながりを意識する。 【授業内容】 テキスト第2章①			10	【到達目標】 全体のつながりを意識した文章を書く。 【授業内容】 テキスト第5章②		
3	【到達目標】 資料分析をできるようにする。 【授業内容】 テキスト第2章②			11	【到達目標】 商用文章を掲載するうえで必要な知識や心構えを身につける。 【授業内容】 Webライティングをする上での心構え		
4	【到達目標】 正しい敬語の使い方を身につける。 【授業内容】 敬語表現			12	【到達目標】 SEO対策を理解する。 【授業内容】 SEO対策		
5	【到達目標】 読みやすい文章を書く。 【授業内容】 テキスト第3章			13	【到達目標】 自分の趣味のブログを書く。 【授業内容】 総合演習		
6	【到達目標】 正しく敬語を使用した文章を書く。 【授業内容】 テキスト第4章①			14 ●対面	【到達目標】 【授業内容】 期末テスト		
7	【到達目標】 通信文を書く。 【授業内容】 テキスト第4章②			15	【到達目標】 文章検定3級合格の実力と自信を身につける 【授業内容】 文章検定3級試験に向けてラストサポート		
8 ●対面	【到達目標】 【授業内容】 中間テスト			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリアデザインⅡ Career DesignⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	塚山 大成
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
【実務経験】 人材サービス業界や教育業界にて企業マッチングや就職支援に携わる経験を持つ							
【授業の学習内容】 ”自分らしさ”を軸にした仕事観を見据えながら、キャリアデザインのフレームワークを用いて、人が社会で生きていく力(社会人基礎力)を高めるとともに、多様な価値観を受容してコミュニケーションを図る双方向授業を行う。発信力と傾聴力を養うため、各回の授業内で個人ワーク・プレゼンテーション・グループワークを行う。							
【到達目標】 自身のキャリアに向けた就職活動の計画を立てて、自ら行動することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 Track Training ※ その他各回にて講師が準備する				【授業外における学習】 早期内定に向けた就職活動及び、課題作成。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 早期内定に向けた心構えを身につけて、就職活動の準備が出来る。 【授業内容】 業界講話 WEB業界研究講座①(株式会社ウェブスタッフ)			9	【到達目標】 就職活動におけるAI活用方法を身につける。 【授業内容】 就活テクニック講座 AIを用いた就職活動を体験してみよう。		
2 対面	【到達目標】 IT業界での就職活動の方法を理解でき、就職活動の準備が出来る。 【授業内容】 業界講話 IT業界研究講座②(株式会社メイテックフィルダーズ)			10 対面	【到達目標】 お金の仕組みを理解する。 【授業内容】 業界講話 マネー講座(SMBCコンシューマファイナンス株式会社)		
3	【到達目標】 企業研究の方法を身につける 【授業内容】 業界研究を基に企業研究をしてみよう。			11	【到達目標】 心理学を応用した演出方法を身につける。 ウケる力・話題提案力とは何か理解する。 【授業内容】 就活テクニック講座 その場で使える「演出効果」を学ぼう。		
4 対面	【到達目標】 WEBデザイナー/クリエイターの仕事が理解でき、就職活動の準備が出来る。 【授業内容】 業界講話 クリエイター職種研究講座(株式会社クリークアンドリバー社)			12 対面	【到達目標】 自身を表現する自己PRとガクチカが書ける。 【授業内容】 業界講話 履歴書・ES対策講座(株式会社ユニゾン・テクノロジー)		
5 対面	【到達目標】 プログラマーの仕事が理解でき、就職活動の準備が出来る。 【授業内容】 業界講話 プログラマー職種研究講座(株式会社SALTO)			13 対面	【到達目標】 面接対策が準備できる。 ※採用担当者の視点から聴いてみよう 【授業内容】 業界講話 面接対策講座(株式会社システムリンク)		
6 対面 (スーツ)	【到達目標】 就職活動の着こなしを身につける 【授業内容】 業界講話 スーツ着こなし講座(スーツの青山)			14 対面	【到達目標】 自分自身の学んできたスキルを作品に表現できる。 【授業内容】 定期試験(レポート課題)		
7 対面	【到達目標】 業界研究・職種研究を行い、自身の目指す方向性を明らかにすることができる。 【授業内容】 中間試験(筆記試験)			15	【到達目標】 1年間考えてきたキャリアデザインを整理することができる。 【授業内容】 1年間のまとめ		
8 対面	【到達目標】 履歴書・ES対策が準備できる。 ※採用担当者の視点から聴いてみよう 【授業内容】 業界講話 履歴書・ES対策講座(株式会社ユニゾン・テクノロジー)			【評価について】 中間試験20点、定期試験60点、合計80点により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	JavaScript II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山本 航大	
	JavaScript II	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 1限	
学科・コース	情報技術科							
【実務経験】								
複数のプログラミング言語を使用した生化学医療機器の開発・保守経験、C++言語を使用したソフトウェアの開発経験がある。								
【授業の学習内容】								
JavaScript のやや発展的な内容をJavaScript I の理解を前提として学習する。実案件でも使われるようなUI部品をライブラリやコンポーネント等を使用しながら制作していく。								
【到達目標】								
各回のすべての到達目標について、Web検索や書籍、生成AIを利用して良いので、理解・納得した状態で使えるようになること。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
参考書:「デザインのネタ帳 コピペで使える動くWebデザインパーツ」(ISBN978-4-295-20244-8)								
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要			
1 (対面)	【到達目標】 オブジェクト、配列、for of を理解する。 【授業内容】 JavaScript の説明・実行方法の説明 文字列・出力方法の説明、実践演習			9	【到達目標】 ドロワーメニューが作れるようになる。(1/2) 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			
2	【到達目標】 アロー関数式を理解し、配列操作の関数を使えるようになる。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			10	【到達目標】 ドロワーメニューが作れるようになる。(2/2) 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			
3	【到達目標】 DOM(HTML内の値の取得、設定、イベント)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			11	【到達目標】 モーダルウィンドウが作れるようになる(Remodal, micromodal.js)。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			
4	【到達目標】 数学関連の関数、数値・文字列操作の関数の使い方を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			12	【到達目標】 「もっと見る」ボタンが作れるようになる。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			
5	【到達目標】 スライドショー/スライダーが作れるようになる(Swiper.js, Slickjs)。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			13	【到達目標】 今までの授業内容で理解できていなかったところを理解できるようになる。 【授業内容】 期末試験内容の総復習			
6	【到達目標】 アコーディオンメニューが作れるようになる。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			14 (対面)	【到達目標】 期末試験 【授業内容】			
7	【到達目標】 CSS Animation と JavaScript の連携方法を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			15	【到達目標】 期末試験の振り返り 【授業内容】			
8 (対面)	【到達目標】 中間試験 【授業内容】			【評価について】				
【特記事項】				定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価				

科目名 (英)	プログラミング演習Ⅱ Programming Practice II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山本 航大	
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 2限	
学科・コース		情報技術科						
【実務経験】 複数のプログラミング言語を使用した生化学医療機器の開発・保守経験、C++言語を使用したソフトウェアの開発経験がある。								
【授業の学習内容】 第1回～第7回の各回の授業の前半では JavaScript の授業の演習を行う。後半では、HTML、CSSの基礎的な内容について、各項目を深く理解できるよう1つ1つ細かく解説を行う。第10回以降は、そこまでの学習内容を実際に自分の制作しようとするものに適用するという体験をする。								
【到達目標】 ・各回のすべての到達目標について、Web検索や書籍、生成AIを利用しても良いので、理解・納得した状態で使えるようになること。 ・「自身で制作しようとするものの制作方法をWeb検索、書籍、友達、先生、生成AIなどを使って調べ、完成させられる」というスキルを身に着けること。								
【使用教科書・教材・参考書】 参考書HTML5&CSS3 標準デザイン講座<flexboxレイアウト/レスポンシブ> (ISBN978-4-79810-5813-6)					【授業外における学習】 授業時間内に終わらない場合、制作物の制作			
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 セレクト(タグ名、ID、クラス名、子孫、全称、グループ)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				9	【到達目標】 中間試験の振り返り 【授業内容】		
2	【到達目標】 background-color、-image、-repeat、-position、-attachment、-size を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				10	【到達目標】 独自のWebサイトの制作を進める。 【授業内容】 プログラミング実践、調べ学習		
3	【到達目標】 一括指定プロパティを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				11	【到達目標】 独自のWebサイトの制作を進める。 【授業内容】 プログラミング実践、調べ学習		
4	【到達目標】 border-radius、text-shadow、box-shadow、グラデーション(linear-gradient、radial-gradient)、フォントを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				12	【到達目標】 独自のWebサイトの制作を進める。 【授業内容】 プログラミング実践、調べ学習		
5	【到達目標】 position(relative、absolute、fixed、sticky)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				13	【到達目標】 独自のWebサイトの制作を進める。 【授業内容】 プログラミング実践、調べ学習		
6	【到達目標】 display(inline、block、inline-block)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				14 (対面)	【到達目標】 独自のWebサイトの制作を進める。 【授業内容】 プログラミング実践、調べ学習		
7	【到達目標】 display(flex)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習				15	【到達目標】 今後の学習の方向性や手段を学ぶ。 【授業内容】 今後の学習の方向性や手段の説明		
8 (対面)	【到達目標】 中間試験 【授業内容】				【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の各回の前半に、JavaScript の授業の演習を行う。								

科目名 (英)	プロジェクト実習 Project Practional Training (Webprogramming)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	愛澤伯友
学科・コース	情報技術	授業 形態	実習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後 期 木 曜 3・4 限
【実務経験】 これまで小規模から大規模までのプロジェクト、プレゼンテーションを経験し、大手広告会社にて大規模プレゼンテーションに関しての指導にもあたる							
【授業の学習内容】 プロジェクトをどのように形作り進めるかを、小規模なモノから大規模なモノまでを学び、また、規模に応じたプレゼンテーション技法を学ぶ。また、「プロジェクト」の構築法として確立しているPMBOKや本格的なCRMを合わせて学ぶ。取り扱う題材については学生の特性に応じて決定します。							
【到達目標】 ・実務レベルでの企画書、仕様書などを制作できる 各種規模に応じたプレゼンテーションの実施と資料の作成ができる チーム作業について十分な知識を待つ							
【使用教科書・教材・参考書】 図解入門 よくわかる 最新PMBOK第7版の活用				【授業外における学習】 常に「思考する」癖を付けること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 到達目標までの個人課題とグループ課題の理解 【授業内容】 オリエンテーション、発想法、プレゼンテーション技法			9 (対面)	【到達目標】 役割分担のある組織での責任行動が取れる 【授業内容】 チーム形成、得意分野 & 苦手分野を見極める、プレゼンテーション資料の作成、CRM		
2	【到達目標】 GitHubの設定と利用方法法海 【授業内容】 git、GitHubの特徴とその設定、構造			10 (対面)	【到達目標】 (個人)企画書制作ができる 【授業内容】 文章をPPへ、企画の正当性判断、規模別プレゼンテーション技法		
3	【到達目標】 アウトプットでもあるプレゼンテーションを構築する技法を実践できる 【授業内容】 プレゼンテーションの各種領域、プレゼンテーション技法、魅力的なプレゼンテーション演出、チームワーク			11 (対面)	【到達目標】 (個人)仕様書が作成できる 【授業内容】 要件定義、ミーティング技法 & マナー、仕様書作成技法		
4 (対面)	【到達目標】 課せられた課題について優れたアイデアを捻出し効果的なプレゼンテーションが行える 【授業内容】 アイデア技法、チームワーク、演出技法、プレゼンテーション			12 (対面)	【到達目標】 (プロジェクト演習1)個人商店規模でのプロジェクト管理ができる 【授業内容】 スコープの決定技法、快慶・予算管理、申請・助成・許諾		
5 (対面)	【到達目標】 スケジューツ管理ができる 【授業内容】 スケジュールに対する考え方、WBS、作業フロー、クリティカルパス、MS-Project			13 (対面)	【到達目標】 (プロジェクト演習2)企業規模におけるプロジェクト管理ができる 【授業内容】 仕様書と承認、進捗管理、外注管理、大規模スケジュール管理		
6 (対面)	【到達目標】 WBS,サイトマップでのページ内容の理解 【授業内容】 WBS、サイトマップ、テストフェーズ、シナリオ			14 (対面)	【到達目標】 期末試験(最終課題) 【授業内容】 課題プレゼンテーション		
7 (対面)	【到達目標】 iOSを目的としたデバイスのアイデア創出 【授業内容】 iOS、問題点の見極め、市場調査、予算設計			15 (対面)	【到達目標】 講評と解説 【授業内容】 講評と解説。さらなる学習ポイント(プレゼンテーションが一部継続する場合もある)		
8 (対面)	【到達目標】 既学習内容を組み合わせ課題解決ができ、プレゼンテーションが実施できる 【授業内容】 中間試験			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 ※チームでの作業も多いので、第4回以降は対面を基本とします							

学科・コース	デザイン基礎技法Ⅱ Fundamental Design TechniquesⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺竜亮
	学科・コース	情報技術科	授業 形態	実習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】 WEBのビジュアルデザイン、UX/UI、情報設計に特化。							
【授業の学習内容】 ■なfigma, photoshop, illustratorを使い、作品を作る ■アプリケーションのさらなる習得度向上を目指す ■デザインの基本を学ぶ							
【到達目標】 ■figma, photoshop, illustratorの使い方を理解し、作品がつくれるようになる ■webと紙のデザインができるようになる ■デザインの基本を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 デザインの4原則(応用)(1) 【授業内容】 飲食店のメニューを作成する			9	【到達目標】 figmaのオートレイアウトをマスターする 【授業内容】 オートレイアウト(2)		
2	【到達目標】 デザインの4原則(応用)(2) 【授業内容】 飲食店のメニューを作成する			10	【到達目標】 webサイトのWFを作ることができるようになる 【授業内容】 figmaでWFを作成する(1)		
3	【到達目標】 ポスターの作成ができるようになる 【授業内容】 花火大会ポスターの作成(1)			11	【到達目標】 webサイトのWFを作ることができるようになる 【授業内容】 figmaでWFを作成する(2)		
4	【到達目標】 ポスターの作成ができるようになる 【授業内容】 花火大会ポスターの作成(2)			12	【到達目標】 WFからデザインまで作成できるようになる 【授業内容】 自分で作ったWFからfigmaでデザインを作成する(1)		
5	【到達目標】 ポスターの作成ができるようになる 【授業内容】 花火大会ポスターの作成(3)			13	【到達目標】 WFからデザインまで作成できるようになる 【授業内容】 自分で作ったWFからfigmaでデザインを作成する(2)		
6	【到達目標】 バナー作成ができるようになる 【授業内容】 photoshopで広告バナーの作成(1)			14 対面	【到達目標】 期末試験(対面授業) WFからデザインまで作成できるようになる 【授業内容】 11から作成しているwebサイトデザインの提出と評価を最終課題とします		
7 対面	【到達目標】 中間試験(対面授業) バナー作成ができるようになる 【授業内容】 photoshopで広告バナーの作成(2) バナー広告の提出と評価を中間試験とします			15 対面	【到達目標】 期末試験の評価フィードバック(対面授業) 【授業内容】		
8	【到達目標】 figmaのオートレイアウトをマスターする 【授業内容】 オートレイアウト(1)			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	ITパスポート試験対策 IT Passport Examination Preparation	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡田 祐一
		授業 形態	講義	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	後期 金曜3・4限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 大手電機メーカー系開発会社で、ソフトウェア開発部門に所属し、実時間性と高信頼性が求められるシステム開発に25年以上携わる。 情報処理技術者試験は、ITパスポート、基本情報技術者、第二種情報処理技術者(旧基本情報)、第一種情報処理技術者(旧応用情報)、初級システムアドミニストレータ、アプリケーションエンジニア、プロジェクトマネージャに合格。							
【授業の学習内容】 ITパスポート試験合格を目標とした頻出問題の解説、問題演習を通して解答力をつける。 高度資格を含む各種情報処理技術者試験の合格経験と、顧客との仕様決めから、上流・下流設計、保守、プロジェクトマネジメントまでの幅広い経験を活かしてスキルを伝授するので、更に上位資格の合格や実開発の即戦力になれるように意識して取り組んでほしい。							
【到達目標】 ・ITパスポート試験の合格 ・基本情報処理技術者試験合格に向けた基礎作り							
【使用教科書・教材・参考書】 『【令和7年度】いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集』(SBクリエイティブ)				【授業外における学習】 ITパスポート試験合格に向けて、過去問などによる自己学習が大切となる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 ☆対面授業 ガイダンス・ITパスポート試験の概要と効果的な学習方法 企業活動(前半) 【授業内容】 講師自己紹介・ITパスポート試験について・効果的な学習方法・CBT 疑似体験ソフトウェア・過去問道場 企業の責任・業務分析と業務計画 など			9	【到達目標】 ハードウェア 【授業内容】 コンピュータの種類・コンピュータの5つの役割・入出力インターフェース など		
2	【到達目標】 企業活動(後半) 法務 【授業内容】 損益分岐点・財務諸表と5つの利益 など 3つの知的財産権・労働関連法規・標準化 など			10	【到達目標】 ソフトウェア データベース 【授業内容】 OS・ファイルシステム・バックアップ・アプリケーション など 関係データベース・SQL など		
3	【到達目標】 経営戦略マネジメント 技術戦略マネジメント 【授業内容】 経営戦略とSWOT分析・PPM・事業戦略と経営管理システム など 技術開発戦略の立案・ビジネスシステム・エンジニアリングシステム など			11 (対面)	【到達目標】 ここまでに習った内容の理解度を向上する 【授業内容】 定期試験(中間試験) ☆対面授業(オンライン受験は認められない) 中間試験の回答/解説・ふりかえり		
4	【到達目標】 システム戦略 開発技術 【授業内容】 情報システム戦略・業務プロセス・要件定義プロセス調達計画 など システム設計・プログラミング・ソフトウェアの開発モデル など			12	【到達目標】 ネットワーク 【授業内容】 LANとWAN・通信プロトコル・インターネットの仕組み など		
5	【到達目標】 プロジェクトマネジメント 【授業内容】 3つの制約・PMBOK・スケジュールマネジメント・資源マネジメント・コミュニケーションマネジメント・リスクマネジメント など			13	【到達目標】 情報セキュリティ 【授業内容】 情報セキュリティの脅威・暗号技術・デジタル署名 など		
6	【到達目標】 サービスマネジメントとシステム監査 【授業内容】 ITIL・SLM・可用性管理・システム監査・内部統制 など			14 (対面)	【到達目標】 苦手分野克服 習った内容の理解度を確認するとともに知識を定着する 【授業内容】 苦手分野を克服し、合格をより確実とする問題演習(つづき) 定期試験(期末試験) ☆対面授業(オンライン受験は認められない)		
7	【到達目標】 基礎理論とアルゴリズム 【授業内容】 数値の数え方・集合と論理演算・データの単位 など データ構造・フローチャート・コンピュータ言語・プログラミング など			15	【到達目標】 習った内容の理解度を確認するとともに知識を定着する 【授業内容】 定期試験の回答/解説・ふりかえり さらなるスキル向上に向けて		
8	【到達目標】 コンピュータシステム 【授業内容】 処理形態によるシステムの分類・RAID・システムの評価指標・システムの信頼性・直列システムと並列システム など			【評価について】 定期試験(筆記試験)により評価する。 また、学校共通の施策として、ITパスポート試験に合格した者は評価に加える予定。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 教科書は必ず購入すること。 欠席した場合は自習して演習を実施すること。							